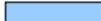


**運行コース(案)**

 : 敦賀駅～駅前～本町～気比神宮～神楽町～相生町～蓬萊町～金ヶ崎緑地公園

 : 気比の松原および松原海岸一帯

**金崎宮、金ヶ崎城跡:** 1336年、恒良、尊良両親王を守護した新田義貞が足利軍と戦った古戦場。戦いは激しく、尊良親王ら300人は籠城から半年後、城に火を放ち自害した。中腹の金崎宮には両親王が祀られている。恋の宮、桜の名所としても知られている。戦国の時代には信長、秀吉、家康、と利家が勢揃いした場所でもある。

**金ヶ崎緑地公園:** 敦賀港のウォーターフロントとして、人々の憩いの場となっている。近くに復元した「大和田別荘」をはじめ芝生公園、復元灯台などがある。

**旧敦賀港駅舎:** 「欧亜国際連絡列車」の発着駅であった旧敦賀港駅舎を再現

**きらめきみなと館:** 多目的に使えるイベント会場として活用され賑わっている。館内に敦賀湾が一望できる喫茶店がある。

**みなとつが山車会館:** 「敦賀まつり」に使われている山車や甲冑、能面を展示

**魚問屋街:** 早期、新鮮な魚介類が安く手に入る。冬場(11月～3月下旬)、カニの釜揚げが見学できる。

**魚市場:** 地の魚を中心に朝7時からセリが行われている。

**敦賀市立博物館:** 旧大和田銀行で昭和初期に建てられた日本三大建築の一つ

**洲崎の高灯籠:** 江戸時代に建てられた灯籠で、当時は毎夜、この灯籠に火が灯され出船入船の目標として、重要な灯台であった。

**気比の松原、松原海岸:** 長さ約1.5km広さ約40万㎡という広さと白砂青松のコントラストが印象的。赤松、黒松約17,000本が生い茂る国の名勝地。一夜で出来たという伝説が残る日本三大松原の一つ。夏は京阪神や中京方面から多くの海水浴客で賑わう。また、遊歩道も整備されており憩いの場となっている。

**こどもの国:** 松原海岸近くにあり、芝生が生える広い敷地には、ブランコや滑り台などの遊具がある。併設の建物にはプラネタリウム、工作室などが備えられており、こどもが楽しく遊び学ぶ施設となっている。

**武田耕雲斎の墓:** 1864年、武田耕雲斎が率いる水戸天狗党は、尊王攘夷を唱えて挙兵。朝廷に志を訴えようと京都へ上る途中、敦賀で捕らえられた。幕府は厳しい処罰を下し、翌年、来迎寺(松原)で353人が斬首された。道路を挟む松原神社境内には、一行が監禁されたニシ蔵が記念館として残っている。

**敦賀酒造:** 寛永元年(1624年)創業の歴史を持つ。予約が必要であるが地酒の試飲と酒蔵の見学ができる。

**アクアトム:** 敦賀の人と風土を育んできた「海」と「エネルギー」をテーマに、子供から大人まで最先端の科学について楽しく「見る、触れる、感じる」ことができる参加・体験型の科学館。館内には「ロボットシーラカンス」やジェットコースターの「アクアトムライド」がある。

**松本零士モニュメント:** 敦賀駅から気比神宮までのアーケード沿いに松本零士氏のアニメモニュメントが設置されている。宇宙戦艦ヤマトと銀河鉄道999を題材に敦賀の街をイメージしている。中でも宇宙戦艦ヤマトのひとつ「信し合う愛」はカップルに人気がある。

**金前寺:** 南北朝延元2年(1337)金ヶ崎落城の一大決戦の本営となり、足利尊氏の軍に敗れた新田義貞は敗走し、御醍醐天皇の第二皇子尊良親王と新田義貞は、当山観音堂で自害した。松尾芭蕉が戦いの物語を聞き、句を詠んだ所で、句碑がある。

**ランプ小屋:** かつて列車の光源として使われていたランプの燃料を保管したレンガ造りの小屋

**赤レンガ倉庫:** 福井県内でも有数のレンガ建築物。外国人技師によって1905年に建てられた倉庫で当時は石油貯蔵庫として使われていた。6本の柱の内側に壁を設け、内部に柱のない空間になっているのが大きな特徴

**気比神宮:** 北陸道の総鎮守で敦賀市民からは「けいさん」と親しまれている。702年の建立と伝えられ、明治に官幣大社となった。境内には松尾芭蕉の像と句碑がある。高さ11mの大鳥居は春日大社、厳島神社と並ぶ日本三大木造大鳥居の一つ

**紙わらべ資料館:** 空き家になっていた古い町屋を活用して作られた観光スポット

**清明の朝市:** 毎月第3日曜日の8時から12時まで開催。明治時代、行商人たちが清明神社近くの軒先で農産物や雑貨を売っていたのがそのルーツ。大正5年には公設市場ができ、街は活気にあふれていた。

**清明神社:** 防火の神として信仰を集める清明神社。賀茂忠行・保憲の親子に陰陽道を学びた家となった陰陽師安部晴明に因んだ神社

**鉄輪(かなわ):** 明治時代、国際交通の要衝であった敦賀駅の開業100周年を記念して、当時走っていた蒸気機関車の車輪を設置したモノ。

**都賀我阿羅漢等像:** 「日本書紀」崇神天皇の条に、朝鮮半島に那国(みまのくに)の王子であるツヌガアラシが敦賀の地に来着したという説から作られた像